

＜世界のヤング・リーダー、愛鶏園を視察！＞

2018年9月15日(土)、世界各国で活躍している鶏卵生産者の二代目・三代目の方々(呼称:ヤング・リーダー)が愛鶏園を訪問してくれました。

総勢 16 名来訪。

国はアメリカ・カナダ・コロンビア・アイルランド・フランス・イタリア・インド・パキスタン...本当に多彩な国々。

まずは専務による愛鶏園の概要説明。そしてその通訳には上野生産本部長が対応。愛鶏園の歴史から経営理念、事業概要、将来像などを隈なく話しました。

先方からもさすがに質問が多数出て、意識の高さを感じさせます。特に有機堆肥事業について質問が多かったかと思います。やはり全世界共通の課題であり、テーマなのでしょう。



その後、小美玉ファームに移動してGPセンターは見学通路から、そして農場は専用バスに乗って車内からの見学を行いました。小美玉GPセンターでは、大会議室(呼称:インキュベーションルーム)に新しく設置された愛鶏園の歴史年表の長さには感嘆していました。

今、世界の養鶏家の間でよく話されているテーマの中に『サステイナブル:持続可能な農業』があります。

国の実情や求められているものの違いは多分にあるにせよ、養鶏業が地域・社会に貢献し、この栄養豊かなタマゴを安心して供給していく使命は同じだと思いました。そして愛鶏園が取り組んでいる方向性も間違っていない!と心強く感じました。

先に来訪されたブラジルの生産者や今回のヤングリーダーの方たちと話す機会を得たことで、自分たちの仕事が改めて世界の中でも価値があり、責任が伴うものであると再認識できました。感謝!

これからも引き続き、『世界の笑顔あふれる食卓のために、喜び喜ばれる農場』を創って行きましょう!

